

質の高いケアマネジメント実践

～地域課題の解決に向けた事例検討会開催のための主任介護支援専門員の役割～

介護支援専門員の「地域ケアマネジメント」に対するモチベーションの持続・向上の効果的な促進を図るために、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員が協働して、「ケースメソッド教授法」を用いた事例検討会を開催し、その手法を学びます。個別支援から地域支援に視野を広げた事例検討を行いましょう。

「主任介護支援専門員更新研修受講要件②該当研修」並びに「地域包括支援センター等が実施する事例検討会」として開催

【実施要項】

本研修は、ケースメソッド教授法を用いて、ファシリテーターとしての役割を理解し、ケアマネジメント実践で活かせるファシリテーションスキルを習得することを目的とします。

ケースメソッド教授法とは、もともとハーバード・ビジネス・スクールで採用された事例研究法の一つです。実事例に基づくケース教材を素材とし、マネジメントに関する諸問題について集団で討議を行い、問題解決能力の向上を図ります。

受講者は、事前学習が必要となります。受講申込後に「ケース教材」「ケースの読み方」「課題シート」を送付します。ケース教材の内容を理解し、自分の考えを課題シートに記入してください。課題シートには2つ設問があり、1問あたり100～200字にまとめて当日ご持参ください。提出の必要はありません。

◆ 日時・会場

日 時：令和元年12月13日（金）13：30～16：00（受付13：00～）

会 場：広島市南区役所別館4階大会議室（広島市南区皆実町1-4-46）

◆ 内容・プログラム

【企画・進行】 広島市宇品・似島地域包括支援センター 主任介護支援専門員 石川 伸昭

(1) 13：30～13：35 開会挨拶 西村 裕子（一般社団法人広島県介護支援専門員協会広島市南区ブロック 副ブロック長）

(2) 13：35～13：50 現況報告 石川 伸昭（広島市宇品・似島地域包括支援センター主任介護支援専門員）

《テーマ》 主任介護支援専門員に期待される事例検討会のあり方

(3) 13：50～14：30 講 義 鹿見 勇輔（一般社団法人広島県介護支援専門員協会広島市南区ブロック ブロック長）

《テーマ》 「ファシリテーションの知識とスキル」・「参加型事例検討会の進め方」

(4) 14：30～15：30 参加型事例検討会 《ケース教材テーマ》「ケアマネジャーに何ができるのですか？」

ファシリテーター 荒井 直之（広島和光園居宅介護支援事業所）

教材編集 岡田 健（いでしたケアプランセンター広島南）

(5) 15：30～15：50 ふりかえり・意見交換、受講アンケート記入

(6) 15：50～15：55 事務連絡

(7) 15：55～16：00 閉会挨拶 空田 玲子（広島市翠町地域包括支援センター主任介護支援専門員）

◆ 対象者 広島県内の主任介護支援専門員・広島市南区の介護支援専門員（定員50名程度）

◆ 生涯学習制度 参加者 E-1（1単位）・事例提供者 E-2（1単位）・講師（アドバザ） E-3（1単位）

◆ 受講料 南区の介護支援専門員は無料。広島市南区以外からの参加者は500円（当日徴収）

◆ お申込方法 受講申込書（裏面）に必要事項を記載し、11/30（土）までにFAXでお申し込みください。12/6（金）頃にケース教材等を送付します。

◆ 主催 一般社団法人広島県介護支援専門員協会 広島市南区ブロック

広島市大州地域包括支援センター／広島市段原地域包括支援センター／広島市翠町地域包括支援センター／広島市仁保・楠那地域包括支援センター／広島市宇品・似島地域包括支援センター

